

U.S. TANK CREW

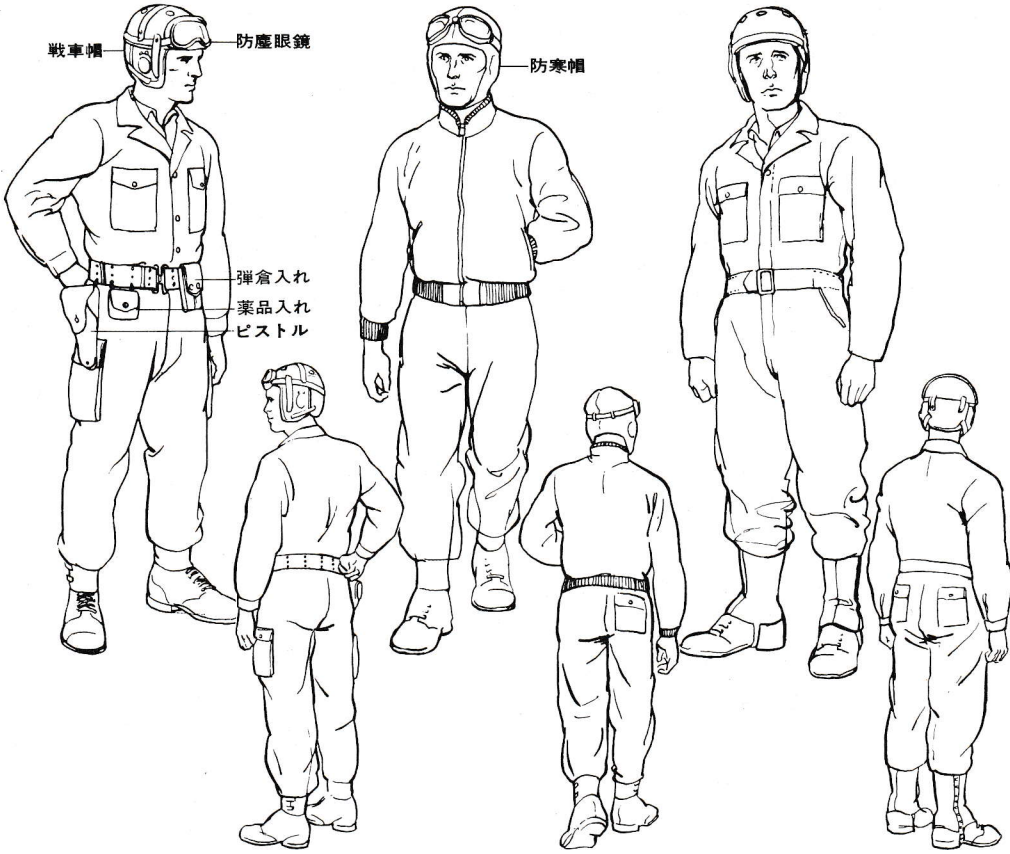
1/35 MILITARY MINIATURES SERIES NO.4 アメリカ戦車兵セット



A, シャツスタイル

B, 冬のジャンパー

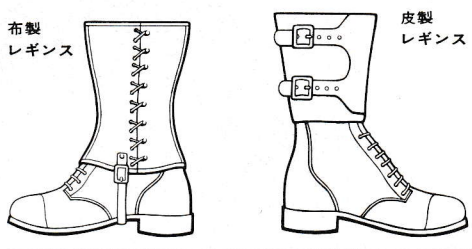
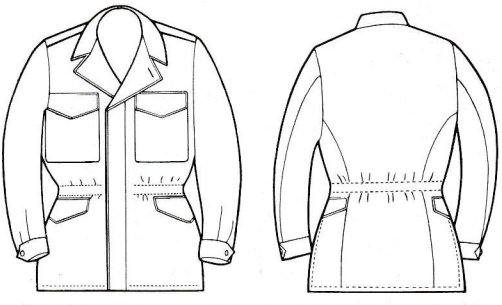
C, オーバーオール



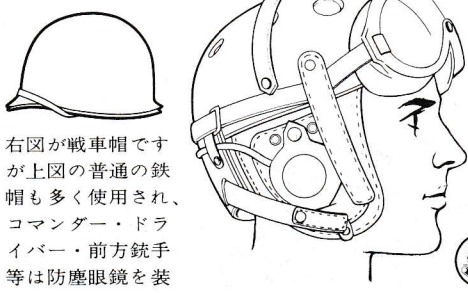
第二次大戦アメリカ機甲科の服装は上図3種(オーバーオールは他に一種ある)以外は他の兵科で使用されている野戦服とほとんど同一であり戦車帽と若干の携帯品の取り付け位置が異なるだけです。上図ABはこのスタイルに服装が決められているわけではなく、ズボンその他に変化があります。

皮製の防寒用帽子も余り使用されませんでした。C図は戦車・車両部隊独特の物で戦闘中はあまり使用されていません。その他に左下のフィールドジャケットが有り現在でも使用されている陸軍の普通のジャケットです。これ等すべての服は多少の変化が有りますがオリーブドラブ色です。

靴とレギンス

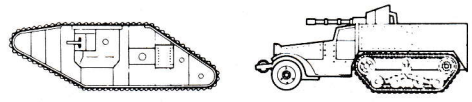


ヘルメット



右図が戦車帽ですが上図の普通の鉄帽も多く使用され、コマンダー・ドライバー・前方銃手等は防塵眼鏡を装着しています。

DISTINCTIVE INSIGNIA



米軍では騎兵師団、装甲騎兵師団それに歩兵師団でも戦車を持っていますので、制服に上図左のバッジを取り着ける事によって、左袖の師団マークが戦車師団でない場合でも戦車兵を表わします。又M36など駆逐戦車のクルーは右上のバッジと師団マーク(箱絵参照)を取り付けています。しかしこの2種のバッジは制服のみで1945年に定められた物です。

戦車兵の個人武装

